

Q：胃がんの手術をした後のことが心配です。
食事は、どのようになるのでしょうか？

A：胃内視鏡治療の場合には、治療する前とほとんど変わりありません。
手術により胃の一部を切除した場合などには、1回の量を減らし、
回数を増やす必要が出てくる場合があります。切除する胃の部位
や範囲により異なるので、詳しくは担当医にご相談ください。

Q：検診費用はいくらぐらいですか？

A：自治体によって異なりますが、無料から、高くても3000円程度です。

Q：検診はどこで受けられますか？

A：各地方自治体から委託を受けた医療機関などです。詳しくは、お
住まいの市区町村のがん検診担当窓口にお問い合わせください。

受診を決めるのは
あなたです！

科学的根拠に基づくがん検診推進のページからダウンロードできます。
<http://canscreen.ncc.go.jp/>

胃がんに関する情報

国立がん研究センター
がん情報サービス

<http://ganjoho.jp/public/index.html>

体験者の情報

「健康と病いの語り」データベース

<http://www.dipex-j.org/>

全国の患者情報室

<http://www.e7station.com/html/library/>

胃がん検診に関するご質問、ご相談、お問い合わせは下記へ。

このリーフレットは、がん研究開発費研究班と8人の市民が協力して作成しました。

「胃がん検診」 受けていますか

早期発見
早期治療で、胃がんは今や「治るがん」

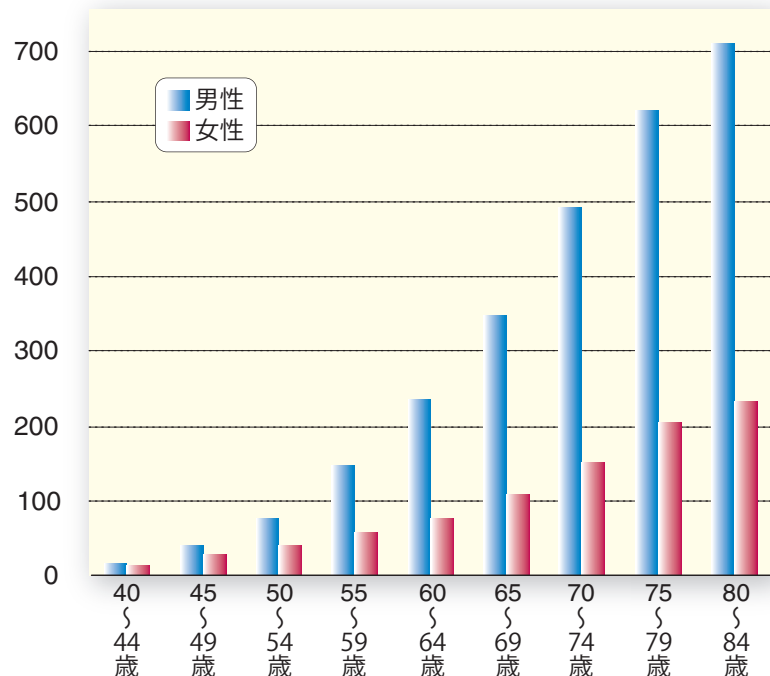


胃がん検診の受診率は、わずか10%
胃がんには、自覚症状がほとんどありません。
症状がなくても検診を受けることが重要です。

日本人は一生のうち、男性も女性も2人に1人が
 がんにかかっています。
 そして、年間 36 万人以上が、がんで亡くなっています。
 そのうち、胃がんで亡くなる方が 5 万人います。
 特に 40 歳以降は、歳を重ねるごとに多くなります。

■ 10 万人中胃がんにかかった人の割合

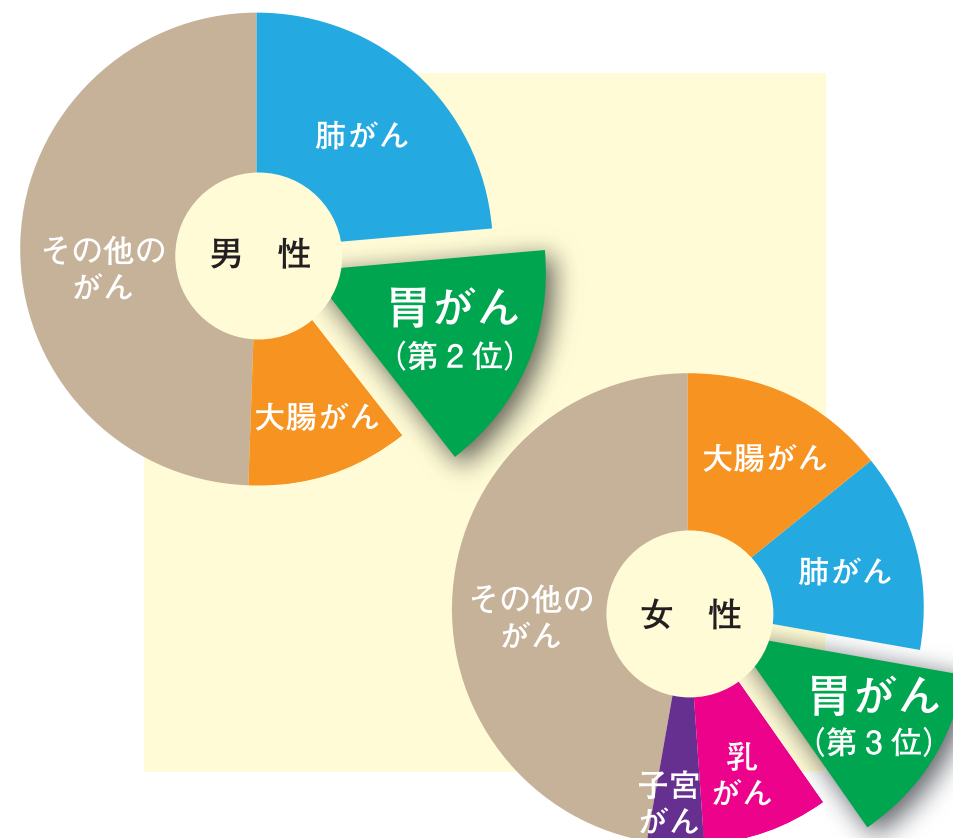
(人)



明日は、あなたが…

1 年間で胃がんにかかる人は、
 男性で約 9 万人、女性で約 4 万 1 千人です。
 すべてのがんの中で、
 これは男性の第 1 位、女性の第 3 位を占めています。
 死亡者数では、男性の第 2 位、女性の第 3 位が胃がんです。

■ 臓器別がん死亡の割合



胃がんで亡くなる方を減らすには
検診による早期発見が有効です。

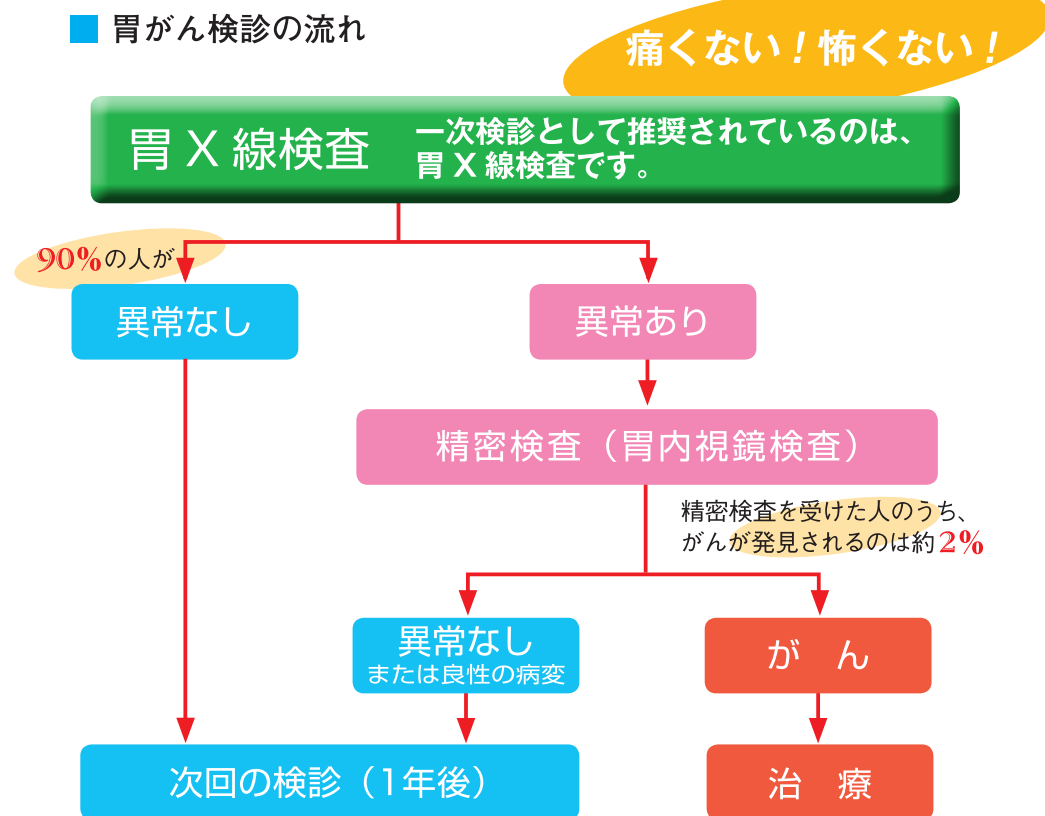
X線検診で見つかる胃がんの約70%が早期胃がんです。
早期胃がんの5年生存率は90%以上。
早期発見・早期治療できれば、
胃がんは今や「治るがん」。
だからこそ、検診の価値があるのです。

● X線検査とは

X線を通さない造影剤バリウムと、炭酸ガスを発生する発泡剤を飲んで、胃内の凹凸や胃の形の変化を見て判断します。X線被曝量は少なく、被曝による体への影響はほとんどありません。バリウムも以前に比べ、味や量に工夫がなされ、飲みやすくなりました。なかには、むせる人もいたり、便秘になる人もいます。ごくまれにアレルギーを起こす人もいます。



■ 胃がん検診の流れ



● 胃内視鏡検査について

胃 X 線検査以外にも、一次検診として胃内視鏡検査も推奨されています。この内視鏡検査は、X 線検査と同じように症状のない人から胃がんの疑いのある人を発見するための検査です。一方、精密検査で行う内視鏡検査は、“診療”として位置づけられていることから、色素をかけたり、細胞を取ったりして、より詳しい検査を行います。それだけ体に負担がかかります。

胃がんの主な原因とされる “ピロリ菌”って何？

ピロリ菌（ヘリコバクターピロリ）は、
胃にとりついて炎症を起こす細菌で、
50歳以上では40%以上の方がピロリ菌に感染しています。
胃がんの高危険因子とされていますが、
ピロリ菌がいたからといって、
必ずしも胃がんになるわけではありません。



※ピロリ菌に感染していても、多くの場合、日常生活にはなんの支障もありませんが、胃や十二指腸潰瘍の原因にもなります。潰瘍を繰り返す場合は、ピロリ菌を除菌したほうがいいかどうか、医師に相談してください。

胃がん検診 Q&A

Q：胃潰瘍は胃がんになりますか？

A：胃潰瘍が胃がんになるわけではありません。

Q：胃がん検診は年1回で大丈夫ですか？

A：厚生労働省では2年に1回のX線検診を推奨しています。1回限りの検診ではなく、継続的に検診を受けることで胃がんの死亡リスクは減少します。ただし、がんの中には急速に成長を遂げてしまうケースもあります。検診結果が異常のない場合でも、気になることがあれば病院を受診してください。

Q：検診で「異常なし」といわれました。安心していいのでしょうか？

A：どんな検査も完璧ではありません。胃がんがあるのに見逃すこともあります。逆に、胃がんではないのに「胃がんがあるかもしれない」といわれる可能性もあります。だから、毎年受診して健康状態を確認することが大切です。

Q：胃X線検査以外の胃がん検診の方法はありますか？

A：胃X線検査のほかに、胃内視鏡検査でも死亡率減少効果が認められています。血液検査（ペプシノゲン法、ヘリコバクターピロリ抗体）による胃がん検診も行われていますが、これらの検査方法によって、胃がんの死亡リスクが減少するという確実な結果が得られていないため、胃がん検診として必ずしも推奨されていません。本当に効果があるかどうかについては、現在研究中です。

Q：家族で胃がんになった者がいますが、遺伝しますか？

A：がんの一部には遺伝が関与する場合がありますが、胃がんは遺伝しません。